

令和2年第7回
久御山町教育委員会定例会
議事録

令和2年 第7回久御山町教育委員会定例会 議事録

1. 招集年月日 令和2年8月27日
2. 招集の場所 久御山町役場会議室23
3. 開 会 令和2年8月27日午前9時30分開会 宣告
4. 出席委員 山本悦三
寺井恵太郎
豊田美幸
阿部拓児
田口賀彦
5. 職務のため出席した者の職氏名
教育次長 田井 稔
学校教育課長 星野 佳史
社会教育課長 西野 石一
学校教育課長補佐 野田 貴志
書 記 梶原 哲郎
6. 付議案件
議案第26号 令和3年度以降使用中学校教科用図書の採択について
議案第27号 令和2年度久御山町一般会計補正予算（第7号）について
7. 会議の経過
午前9時30分 開会

○山本教育長 おはようございます。ただいまから令和2年第7回久御山町教育委員会定例会を開催いたします。本日は傍聴の申し込みがございました。傍聴を許可してよろしいでしょうか。

○委員一同 はい。

○山本教育長 それでは許可をいたします。入室させてください。

【傍聴人入室】

○山本教育長 それでは、議事に入ります前に申し上げます。久御山町教育委員会におきまして、一度注意してもなお議事を妨げる行為のある場合は、久御山町教育委員会傍聴人規則に基づきまして退場を命じます。なお、議場における言論に対して拍手等について可否を表明することや、入退室する際に大声で騒ぐ、速やかに入退室しないといった行為も退場命令の対象となりますので、御留意願います。本日の議事録署名人は阿部委員であります。前回、令和2年6月24日開催の第6回定例会議事録につきましては、先日配付してご覧頂いたことと存じます。

よろしければご承認いただきたいと思います。よろしゅうございますか。

○委員一同 はい。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。第6回定例会の議事録については、承認されました。次に、報告事項に移ります。8月24日から新学期が始まり、夏休みを過ごした児童・生徒が元気に登校をいたしております。小・中学校におきましては、新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策を実施し授業を進めている状況です。今後

もさまざまな課題等が出てまいります。委員の皆様方におかれましては、相談させていただくことが多々あると思っておりますが、よろしくお願ひいたします。以上、報告を終わります。それでは、議事に移ります。議案第 26 号 令和 3 年度以降使用中学校教科用図書の採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条の規定により、令和 3 年度以降使用中学校教科用図書を採択するにあたり、意見を求めます。この教科書採択につきましては、お手元に配布させていただきました国語から道徳までを順次審議させていただきたいと思っております。今回採択する中学生用図書は令和 3 年度から使用するものです。その目的と法的根拠を申し上げます。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 12 条により山城地区におきまして山城地区教科用図書採択地区協議会が設置されております。この山城地区と申しますのは宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、精華町、相楽東部広域連合の教育委員会であります。また、同法の第 13 条 5 号で地区採択地区が 2 以上の市町村の地区を併せた地域であるときは、当該採択地区内の市町村教育委員会は採択地区協議会における協議結果に基づき、同一の教科用図書を採択しなければならないと規定されております。そして地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中で、教育委員会の職務権限として、第 21 条第 6 項に教科書その他の教材の取扱に関する事が規定されていることから令和 3 年度以降久御山町において使用する教科用図書の採択については、本日この教育委員会で決定いただくものであります。それでは、本日の進め方ですが最初に山城地区協議会、山城教科用図書調査委員会の報告書を基に説明をさせていただきます。その後で、山城教科用図書採択地区協議会の結果に基づく説明をさせていただきます。まず山城教科用図書採択地区委員会の調査委員について申し上げます。16 教科の調査委員につきましては、山城管内の中学校の教員の中から 6 人、その教科に長けている複数の教員を教科調査委員に委嘱し、教科毎に複数回協議を重ね報告書を作成いただいたところであり、その結果を代表調査委員から説明を受け、質疑の中で山城教科用図書採択地区協議会定数 20 名、コロナ対策の関係で 1 名欠席の 19 名出席で協議を行い、協同採択したものでございます。それでは、令和 3 年度以降中学校における教科用図書につきましても協議をいたします。また、中学校教科用図書報告書は発行社の優劣を付けることが目的ではなく、特徴が書かれておりますのでご理解いただきたいと思います。お手元に配布させていただいております資料、「意見集約表」も加味いただいで選択いただいたら幸いかとぞんじます。それでは、国語について協議をさせていただきます。野田課長補佐から説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、教科書採択に向けて、次の視点をふまえ、ご協議いただけたらと存じます。1 つ目としましては、①学力向上に向けて、「児童生徒が主体的に学習に取り組める工夫があるか」、「児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図るための配慮があるか」2 つ目としましては、②公教育として、「多種多様な意見がより反映されているか」、「公平性が担保されているか」3 つ目としましては、③管内教員の若年化に伴って、「若手教員でも授業で使いやすいか」4 つ目としまして、④主体的な学びとなるか、「親しみやすさ、使いやすさ、主体的・対話的に取り組めるかどうか」の 4 点です。それでは説明をさせていただきます。お配りした「教科用図書調査報告書」も参考にさせていただけたらと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。最初は、国語で教科書は 4 種です。それでは、それぞれの教科書の特徴についてご説明させていただきます。どの教科書においても「主体的・対話的で深い学び」に向けた工夫が施されるだけでなく、デジタルコンテンツも充実してきました。特徴的な点としましては、東京書籍では、「学びの扉」で課題の意識、「学びを支える言葉の力」で基礎力を鍛え、「言

葉の力」で学習のポイントを押さえる中で、想像・思考・伝え合う力を育成するという内容となっています。また、各単元が「読む」「書く」「話す・聞く」の順番で構成されており、前出の教材で身につけた力を生かし、次の課題に応用する力を育成できるようになっています。三省堂では、「読み方」「考え方」の学習を行ってから単元に入ることができるので、「学び」に対して見通しを持った活動とすることができます。また、カリキュラムマネジメントの視点から各学年でグラフや図表などの情報と文章を関連づけて自分の考えを深める単元の設定もあります。教育出版では、「学び方」を主体的に習得できるような教材配置に工夫されています。また、持続可能な開発目標であるSDGsの視点を大切にされた内容構成をわかりやすく生徒の伝えられるよう意識されています。光村図書では、「情報の扱い方」に関しては、言語活動を通して身につけられるよう、単元と関連させて配列されたり、巻頭に「思考の地図」を設け、様々な思考法を紹介し、「思考力・判断力・表現力」の育成や日常生活でも主体的に利用できるようになっていきます。また、主体的な聞く力を育むため、「聞き上手になろう」を設けたり、統計資料や図表などを活用し、情報活用能力の育成を目指したりするなどの教材が多く設定されています。以上でございます。

○山本教育長 はい、説明が終わりました。それでは委員の皆様方から、野田課長補佐から説明がありました山城地方におきましては、若い先生方が多いなかで授業で使いやすいかどうか、公教育として公平性や多種多様な意見が反映されているかどうか、児童が親しみやすく、扱いやすく、主体的、対話的に学習に取り組むことができるかどうか、などの視点を踏まえまして各発行者の良いと思う点などを抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。どなたからでも結構ですのでよろしくお願いを申し上げます。協議が終わりましたら、山城教科用図書採択地区協議会の結果について説明をさせていただきたいと思えます。それでは、よろしくお願いをいたします。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員。

○寺井委員 先生のお話にあったように先生方が若いということも考慮して選定させていただきました。その中で、東京書籍と光村図書、大変、物語や詩の内容がとても読みやすく、心に残る文章効果だなと感じました。そのなかでも東京書籍が、ちょっと読みやすい文章であったなと判断させていただきました。それと、Dマークコンテンツ、QRコードなど各社、1回、実際にやってみたのですが、東京書籍がとても使いやすく、今後はタブレットが導入されるので、タブレットを使う際にも工夫をされている気配がみられました。そして、思考力や判断力、表現力の育成など各単元ごとに身につけたことを次の課題に活かせるような単元が構成されていて、これは若い先生にとって授業が大変しやすい構成になっていると思えます。それと、生徒に対して前向きに学習に取り組めるようにキャラクターが上手に使われていたり、表現力が上手に使われていたり、とても見やすくなっているように思えます。そういう点を踏まえて、東京書籍を推薦したいと思えます。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員、どうぞ。

○田口委員 私も4社の本を見させていただいて、それぞれの会社ごとに特徴がでていてはないかと思いました。特に、東京書籍を使うのがよいのではないかと思います。「学びの扉」というものがあったり、そこで漫画で分かりやすく説明したり、本編から基礎編までまとめてあることなど、子ども達にとって単元的な学習を進めるうえでも非常により深くて良いと思いました。また、学習の進め方の説明もきちんとありましたので、子ども達が活用していく教科書としては良いのではないかと思います。光村図書も単元の流れや各自主学習を主に取組んでおられましたので非常に良かったのですが、東京書籍の方が私にとっては先生も使いやすいのではないかと思いました。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。ご意見も無いようでございますので、協議を終わらせていただきたいと思います。山城地区協議会の結果について説明をさせていただきます。そして、久御山町として来年度から使用する教科書を決定していきたいとぞんじます。それでは、野田課長補佐から山城地区教科用図書採択協議会の結果について説明をお願いします。

○野田学校教育課長補佐 はい、協議された結果、国語は「東京書籍」が選出されています。教科書全体の構成が、課題設定、基礎力の育成、学習のポイントの把握など、主体的・対話的で深い学びを生み出す授業スタイルを作りやすくなっているという意見が出されました。また、教科書に登場するキャラクターが日常生活で陥りやすいつまづきの場面を示し、言葉の使い方に関する課題を発見したり、対話のモデルを示したりすることで生徒の主体性を促すつくりとなっていると議論されました。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。只今、説明がありました。委員の皆様方の意見については山城地区協議会採択地区協議会の意見と同じであると理解をさせていただきますので、国語につきましては、東京書籍に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、国語につきましては東京書籍に決定させていただきます。次に書写についての協議を行ないます。野田課長補佐から説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、書写の教科書は、4種です。ポスターや新聞、伝統的な番付など、どの教科書においても書写の能力を生活に生かすということを大切に工夫されたものとなっています。誰もが学びやすい環境づくりとしてUDの観点から様々な配慮があったり、QRコードによる動画視聴ができるようになっていたりしています。A/B版にしたものと従来からのA4版のものに分かれるが、文字の大きさなどは同様でありました。特徴的な点としましては、東京書籍では、文字を正しく整え、速く書くための知識・技能を整理した「書写のかぎ」欄があったり、単元末には知識・技能の定着を図るための「書写テスト」も設けてあります。三省堂では、書き順や書写の写し書き用

のページがあるだけでなく、対話的に学習を進める工夫や学習を自分の言葉で振り返ることを意識させるパッケージとなっています。教育出版では、小学校における学習内容の復習を多く取り入れ、行書へのスムーズな接続を図っています。また、身につけるべき力を系統的・段階的に見通し、イラストなどで図示しながら意識づけるつくりとなっています。光村図書では、書き順や書写の写し書き用のページが充実していると同時に、別冊の「書写ブック」があり、3年間の要点がまとめられています。また、QRコードが随所にちりばめられ、本時に応じた動画などをすぐに視聴することができます。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいと思います。どなたからでも結構でございますので、よろしくお願いいたします。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 これも4社ですけれども、それぞれ特徴がでていました。私は、光村図書が本町にあるのではないかと考えました。書写ブックというのがありまして、自学・自習を進めて行くなかで非常にうまく3年間の要点がまとめられているので使い勝手がよいのではと思います。また、UD書体の詳しい説明もありましたし、毛筆と硬筆が一定部分、しっかり分かれてあることもありました。主体的で対話的で、深い学びに繋がって行くような学習、自学・自習部分が書写ブックになって実行実習できていくのではないかと思われましたので、光村図書が良いのではないかと思われました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。他に意見はございませんか。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 正直、どこの教科書も同じような形で、選定するのが難しかったのですが、三省堂が一番基本に基づいて考えている様な感じがしました。東京書籍はA版で先生から説明にあった様に書写のかぎとか書写のテストで、生徒が勉強しやすいようにはなっています。その中で、4社を見させていただきまして、年賀状を書くといく事に注目させていただきまして、その点において光村図書が上手く年賀状を書くように、勉強できるように書かれていました。その点を、年賀状を書く習慣が薄れてきているなかで、そのような文化を大切にすることで、光村図書がこういう点をかなりきちっと説明して教科書に載せていただいている点を評価していきたいです。先程、田口委員がおっしゃったように現在でも使われておりますUD書体についても光村図書はしっかり説明されています。総合的にみて光村図書が良いと思います。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。それでは、協議が終わりましたので、山城地区教科用図書採択協議会の結果について説明をさせていただきます。そして、久御山町として来年度から使用する教科書を決定していきたいとぞんじます。それでは、説明をお願いいたします。

○野田学校教育課長補佐 協議された結果、書写に関しましては「光村図書」が選出されています。別冊の「書写ブック」で生徒が主体的に学習に向かえるような配慮がされていること、QRコードの使いやすさ、主体性を育む観点から他の教科書と比べると秀でた部分が多いという理由があげられていました。以上です。

○山本教育長 はい、久御山町の教科書を採択していくにあたりまして、阿部委員なにかご意見ございませんか。

○阿部委員 はい、書写ですか。

○山本教育長 はい、書写です。

○阿部委員 書写はQRコードでいろいろ動画を見せてもらいまして光村図書は教科書は良いのですが、少し気になるのはNHKの講座と同じで、独自で作っておられない部分があったので気になりました。

○山本教育長 はい、豊田委員どうですか。

○豊田委員 皆さん、光村図書を推薦されていて、もちろん私も書写ブックはすごく気が利いていて良いと思ったのですが、今の子どもの活字離れ、書くこと自体から離れてきている世代なので、そういう意味では東京書籍が字そのものに丁寧を書いてみようと思わせるような仕掛けが沢山あって、そのページを学んだ後にノートの丁寧な取り方、上手く掛けない字の原因をクイズ形式で探ってみようなどすごく気が利いているなと思ったのですが、書写の授業で何をさせたいかの狙いが光村図書とは違ってくるので、書写の教科書としては光村図書がすごく進んでいるし、各社工夫をされていて選びがたいと思っています。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。それでは、ご意見も出尽くしたようでございますので、只今、説明がありました委員の皆様方の意見は山城地区協議会採択地区協議会の意見と同じであると理解をさせていただきますので、書写につきましては、光村図書に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、書写につきましては光村図書に決定いたしました。次に、地理についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、社会の地理に関しましては4種です。どの教科書も新学習指導要領に沿った内容で、他の教科と同様にデジタルコンテンツとしてURLやQRコードが取り入れられたり、ユニバーサルデザインに対応した教科書づくりとなっています。特徴的な点としましては、東京書籍では、書く単元のまとめの活動として、「みんなでチャレンジ」を設定し、話し合いながら学習課題を解決していこうとしています。また、「見方・考え方」に関するマークが随所に見られ、地理的事象を捉える視点やポイントがわかりやすく提示されています。教育出版では、「地理の技」と称し、地図やグラフの活用方法や読み取り方など、基礎的・基本的な技能が習得できるような工夫がされています。帝国書院では、各節の学習を振り返る際に資料や大切なキーワードを多く提示し、定着を図っています。また、「思考力・判断力・表現力」を前面に出

し、探究課題を整理させる工夫をしています。日本文教出版では、各単元の最後にあるアクティビティでは、学習内容の理解を深める対話的な学びの場を設定したり、シンキングツールで思考を整理したりと生徒の主体性を育むしかけがされています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりました。各発行者の良いと思う点などを抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。はい、豊田委員どうぞ。

○豊田委員 私は特に帝国書院の教科書が良いのではないかと思いました。子どもが地理に対してイメージを広げやすい仕掛けがしてあり、日本人が見慣れた地図だけでなく他の国の地図を見せたりといろいろな視点がある。地理というのは興味を持って学ぶのが一番子どもの力を引き出しやすいと思うので、いろいろな意味で地理プラスというコラムの欄があったり、SDGsのことを随所に見れて環境問題と地理、自分達の暮らしと地図など、いろいろな所に繋げようとしている仕掛けが多くあると感じました。東京書籍の覚えているけどテストで点が取れないという事を踏まえて子ども達の学力テストの結果を反映してなんとか得点力に繋げようとした設問をすごく意識していると思ったのですが、帝国書院が手元において勉強したいという気持ちにさせる要素が強いと思いました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございますか。はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 はい、私も全てを見せてもらいました。帝国書院を推薦したいです。インデックスが付いているのが3社と違う、その点だけでも生徒は使いやすいと思います。それと写真の使い方が素晴らしい、写真で各国の文化・特徴がわかりやすく紹介している点が視覚に訴えるという点で素晴らしいと思いました。そのなかで、探してみようというところで地図と連携している点も良いと思います。そして、地域のこと、京都府のことを学べる様になっているのが地元の事を取り上げている点で非常に良いと思いました。

○山本教育長 はい、他に意見はありませんか。それでは、意見も出尽くしたようでございます。それでは、山城地区協議会採択地区協議会の結果について説明を求めます。

○野田学校教育課長補 はい、協議された結果、社会の地理的分野は、帝国書院が選出されました。学習の見通しが立てやすい作りとなっていることやSDGsについての表記が他社よりも大きく取り上げられていること、インデックスが見やすく効果的だという理由があげられていました。以上です。

○山本教育長 はい、只今説明がありましたが、委員の皆様の見解については、山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきます。地理につきましては帝国書院に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、地理につきましては帝国書院に決定いたしました。次に、地図についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、地図の教科書は、2種です。どちらの教科書においても世界や日本の地理的認識を養う内容が地図とともに、写真・グラフ・当系図など豊

富な資料を用いて取り上げられています。特徴的な点としてましては、東京書籍では、地図帳の活用の仕方が巻頭に明示され、一般図の活用方法や資料図がどのような時に役立つか、また歴史的分野や公民的分野の学習で地図をどのように活用するかなど、具体的に示しています。帝国書院では、A版を使用し、掲載する地図範囲が広がっているので、扱いやすい作りとなっています。鳥瞰図（俯瞰図）が各州に用意され、視覚的にわかりやすい挿絵があることで、世界各州の自然環境や生活・文化、産業などの様々な特色を理解するのに役立つ作りとなっています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいと思います。何方からでも結構でございますので、よろしくお願いをいたします。

○田口委員 はい

○山本教育長 はい、田口委員、どうぞ

○田口委員 はい。2社の、まず大きさですが、帝国書院はA版を使用されており、見やすい内容になっていると思いました。また、QRコードも沢山あって、活用しやすいのではないかと思います。また、地理の学習では帝国書院の教科書を採択されたということもありますので、地理的なものと地図の関係は非常につながりがあると思いますので、同一の会社の方が良いと思いました。また、東アジアの国のところで、大陸からどのように日本はみられているのか、今までは視点が日本からが中心であったのが大陸からみた視点は子ども達には関心、意欲がわくのではないかと思います。また、日本の領土、領域、排他的経済水域が一目で分る資料もあるというのも、今話題になっている領土などが理解できて考えを深められるのではないかと思います。

○山本教育長 はい、他にご意見はございますか。

○寺井委員 はい、よろしいですか

○山本教育長 寺井委員、どうぞ

○寺井委員 私も田口委員と同じ意見です。A版サイズがとても見やすい、これが生徒にとって一番良いのではないかと思います。それとQRコード、実際に使ってみたのですが、使いやすくして生徒の学習に併せて活用できると思います。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○豊田委員 はい。

○山本教育長 豊田委員どうぞ。

○豊田委員 はい、東京書籍はSDGsを意識して、SDGsのテーマに沿った地図を用意されて、良いなと思ったのですが少し見にくい部分もありました。帝国書院にも同じような地図があって、問題を解くための地図ではなく、地理を学ぶための地図帳としてふさわしいのではないかと思います。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。他にご意見ございませんか。それでは、意見も出尽くしたようでございます。ここで、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 協議された結果、帝国書院の地図帳が選択されています。

各州に同緯度、同縮尺の日本列島が書き込まれ、視覚的に比較しやすい工夫がされるなど、生徒が食いつくようなしかけがされていることが理由としてあげられていました。また、QRコードが地図中の随所に見受けられ、生徒の興味関心に合わせ、資料が活用できることも選択基準の1つとなりました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。只今説明がありましたが、委員の皆様のご意見については、山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきます。地図につきましては帝国書院に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、地図につきましては帝国書院に決定いたしました。次に、歴史についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 歴史の教科書は、6種です。東京書籍では、単元を貫く「探究課題」を立てたり、各章の最後に課題解決のための考察の方法や視点を具体的に示したりすることを通して、思考力・判断力・表現力の育成を図ろうとしています。特徴的な点としましては、教育出版では、指導する教材の焦点化及び学習内容の重点化が的確に図られ、近現代史にも重点を置くなど、今日的課題も積極的に取り上げています。

帝国書院では、単元ごとに二次元コードがついており、デジタルコンテンツが効果的に利用できたり、見方・考え方を示したコラムがあり、技能をさらに進化させたりする工夫があります。また、地図・資料・グラフなど地理・公民分野と関連する内容が多数みられます。山川出版社では、単元末には、学習内容を様々な視点で考察しまとめる活動が設定されていたり、各章の最初に日本史と世界史の出来事がわかりやすく記載されていたりします。全体を通して資料が他社に比べ詳しいです。日本文教出版では、歴史的な見方・考え方について、わかりやすく解説されているので、学習する目的が理解しやすくなっています。また、各小単元の右側に時代区分と世紀が示され、学ぶ内容が全体のどのあたりの時代であるかわかりやすく工夫されています。育鵬社では、我が国の大きな流れを理解することができる紙面構成となっています。また、生徒の興味・関心を高めるために、各所に「歴史ビュー」が配置されています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりしましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。何方からでも結構でございますので、よろしく願いをいたします。歴史につきましては教科書展示における意見集約表にも沢山のご意見がでております。

○阿部委員 私、専門ですので歴史の教科書はかなり詳しく見させていただきました。歴史の教科書では山川出版が圧倒的というのが印象です。改訂を何方が書いておられるのかも気になり、山川の場合は橋場先生と桜井先生という今の日本の歴史学会をリードする二人の先生が責任編集されておられて、特徴としましては、外国史と日本史それぞれのバランスを意識されていて、その他の執筆陣も豪華で今の学会をリードされている方、最前線で活躍されている方が執筆されているのは、さすが歴史の山川だと思いました。何と言っても詳しい、細かいという事が今の歴史

教育においては問題点の一つになっていて、山川は詳細という事を売りにしているのですが、そうではなくて歴史の大きな流れをつかむことが大事なのではないかとも言われてもおりまして、そういう見方から山川にするのか、あるいは他の出版社にするかが一つ重要になるのかなと思います。それ以外の出版社で言いますと、日本文教出版は高校の教科書は出版していないみたいなので、西日本で活躍されている先生方が書いておられて内容的にも非常に信頼が置けるのかなと思いました。帝京書院、東京書籍は高校の教科書を出版しておられますので、中学校から高校への接続を考えた場合には非常に良い教科書ではないかと思いました。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。今、推薦する発行者としては、山川出版、東京書籍、帝京書院という3社でした。他にご意見ございませんか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 私もその3社を比較させていただいて、山川はやはり阿部委員がおっしゃった様に詳しく、奥深く書かれているのですが、中学生にとってそこまで必要なのかなと、もっと表面的であっても流れをしっかりとつかんで学習を進めて行ってほしいなという思いがありますので、それならベーシック的なところが多く記載されている東京書籍が良いのではないかと考えています。帝国書院の中身を見ていきますと、見開きの形で作られ、振返りのページもしっかりあって学習しやすいのではないかと思います。この教科書を使って学習を自分で進めていくという部分を考えていきますと帝国書院の中身が子ども達にとっては良いのではないかと思いますので、帝国書院を推薦します。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○豊田委員 はい。

○山本教育長 はい、豊田委員どうぞ。

○豊田委員 私も先生方の言われたとおりだと思います。帝国書院は子ども達は授業の合間に先生の話だけではなく、なんとなく教科書を読むんですね。SDGsを多く取上げたコラムや歴史プラスなど自分に歴史を引寄せて考える仕掛けが沢山あって、歴史そのものの優れた教科書というのは山川や他のところがあるかと思うのですが、子どもに教科書に興味を持ってもらいたい、他の事と繋げて考えてもらいたいという仕掛けが多くあるのは帝国書院ではないかと思っています。少しお伺いしたのですが、帝国書院にはヘレニズム文化とかアレキサンドロス大王の記載が無い、他の教科書はさらっとでも触れている。なので、今使っているのも帝国書院の教科書ですが、他の問題集を子どもが開いたときに知らない、教科書に載っていない点が気になりました。

○阿部委員 確かに載っていないですね。人物の処にも載っていないですね。高校入試にはでないから載っていないのかもしれませんがね。

○山本教育長 はい、寺井委員はどうですか。

○寺井委員 はい、帝国書院と東京書籍が良いと思いました。特に帝国書院のタイムトラベルのページが良いと思いました。小学校からの学びの理解や中学校での

学びの違いなど視覚的にも楽しく勉強できる点が良かったと思います。それにプラスしてQRコードが上手く使われていると思いました。世界史や日本史など、歴史のなかで差別されてきた人々の暮らしや時代背景を理解しやすく記載されていたと思います。東京書籍にも載っていたのですが、より帝国書院の方が詳しく説明されていたと思います。

○山本教育長 はい、阿部委員につきましては、大学の専門家でございます、いろいろと素晴らしい意見をいただきまして、ありがとうございました。意見も出尽くしたようですので、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 協議された結果、帝国書院の教科書が選択されています。思考・判断・表現力の育成、生徒が自主的に学習に取り組むことができる配慮など、他社と比較し、総合的に高い評価を得ていました。現場の実態をよく理解した教科書作りで、濃い内容のところは見開き2ページ扱いをするなど工夫がみられていることも理由の1つとなりました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。只今説明がありましたが、委員の皆様方の意見については、山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきます。歴史につきましては帝国書院に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。

○委員一同挙手

○山本教育長 賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。挙手全員であります。よって、歴史につきましては帝国書院に決定いたしました。次に、公民についての協議を行いません。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 公民の教科書は、5種です。どの教科書においても社会的事象を多面的・多角的に考察する工夫があり、思考を整理し、表現力や判断力を養うための課題が設定されています。特徴的な点としましては、東京書籍では、見開き2ページ1単位時間の内容として、「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック・トライ」の流れで構成され、学習内容のバランスがよく、授業が進めやすい工夫がされています。

教育出版では、授業の導入を身近な話題から展開することにより、本時の学習課題がよりイメージ化される生徒の主体性を促す構成となっています。帝国書院では、「アクティブ公民」のコーナーで活動場面を設けるなど、自ら問題を発見し、解決する能力を養うことができるよう工夫されています。日本文教出版では、各編の導入において「マンガ」、章の最後に「チャレンジ公民」を設けたり、随所に「シンキングツール」でわかりやすく解説するなど、生徒の興味関心を高めるよう工夫されています。育鵬社では、生徒が主体的に学習できるように「学習を深めよう」というコーナーで身近な話題を毎時間提供し、学習への意欲づけを行っています。以上です。

○山本教育長 はい、説明がおわりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいと思います。何方からでも結構でございますので、よろしく願いをいたします。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 各社特徴的なものがあると思いますが、東京書籍につきましては単元を貫く学習が出来ているのではないかと思います。主体的多様な取組もやりやすいのではないかと思います。また、みんなでチャレンジがしっかり明示されていて対話的な授業実践にも取組みやすいような工夫がされていると思いました。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。他にご意見はございませんか。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 はい、私、公民を調べて見たのですが、現代社会の様々な課題について、それを解決し持続可能な未来ある社会をどう実現するのかを学習することが重要です。それを踏まえて、東京書籍、教育出版の2社がかなり良いと思いました。その中で、東京書籍のもっと公民というページがあるのですが、このページで生徒が深く学びの復習が出来るとは思いません。また、QRコードで地理や歴史の各ページにアクセスできる、この点も良いと思いました。公民の各ページにいろいろな情報や伝統や文化や技術といったページ毎にこれを教えているという事が明示されていて、大変生徒も授業に入っていくやすいと思いました。それと、憲法について一番詳しく、理解しやすく説明されているのが東京書籍でないかと思いました。人権についても偏り無く説明されているように感じられました。それと大日本帝国憲法と日本国憲法の違いが他の出版社より、より正確に記載されているように感じました。先程、田口委員からありましたみんなでチャレンジ、グループディスカッションですね、これは生徒同士のコミュニケーションにかなり役立ちますし実践的な授業ができ、先生の指導にもプラスになってくると思いました。教育出版にも同じようなものがあるのですが、読ませていただくと東京書籍のほうが優れていると感じましたので東京書籍を推薦いたします。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。他にご意見はございますでしょうか。それでは、他にご意見もございませんので、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 協議された結果、東京書籍の教科書が選択されています。学びにおけるゴールを示すため、各章の始めに探究課題を設定し、単元を貫く活動を行いやすくするよう工夫されていることが議論されていました。協同的な活動を求めるコーナー「みんなでチャレンジ」では、シンキングツールを効果的に取り入れ、対話的な授業実践につながるようにされていることも理由の1つとしてあげられていました。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。只今説明がありましたが、東京書籍と教育出版が候補に挙がってきたなかで、東京書籍の方が良いのではないかと、山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきたいと思います。公民につきましては東京書籍に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、公民につきましては東京書籍に決定い

たしました。次に、数学についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補 数学の教科書は、7種です。どの教科書においても生徒の興味関心を高めるための配慮や既習内容の振り返り、基礎的基本的な内容の定着を図る工夫がされています。また、習熟をはかるために練習問題を多く設定するという工夫もされています。特徴的な点としましては、東京書籍では、中学1年生の0章において「算数」と「数学」をスムーズにつなげられるような工夫がされています。また、デジタルコンテンツのDマークもUDの視点を意識したつくりとなっています。大日本図書では、節末の「活用・探究」や巻末の「MATHFUL」などで調べたり、考えたりできるよう設定されています。社会や日常生活とのつながりを意識した配慮がみられます。学校図書では、生徒が単元の学習に見通しを持ってスムーズに入り込むため、章のはじめに思考を促す課題の設定がされています。教育出版では、「調べて、きまりをみつける」「今まで学んできたことを使う」といった数学的に考えるとは何なのか巻頭に提示することで、算数から数学へなだらかなステップがふめるよう工夫されています。啓林館では、各項目ごとに練習問題が設定されるなど、習熟をはかる機会が多くなっています。また、QRコードを通したデジタルコンテンツが各章の随所に提示され、活用しやすいつくりとなっています。数研出版では、別冊の「探究ノート」を活用することをとおして、見方・考え方をはたらかせた問題解決力の育成が図られます。日本文教出版では、各節のポイントになる場面で「大切な見方・考え方」を提示し、生徒の主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。何方からでも結構でございますので、よろしくお願いいたします。

○阿部委員 はい。

○山本教育長 はい、阿部委員どうぞ。

○阿部委員 はい、少し気になったことなのですが、教科書自体はすごくカラフルで30年前の私達の使っていた教科書と比べてキャラクターも出てきて、楽しく学べる工夫がされていると思ったのですが、デジタルコンテンツの方はまだちょっと造りが甘いというか教科書自体に比べてあまりよろしくないというものであり、デジタルコンテンツはユーチューバーをはじめとしてすごく上手な人がいるので、まだ、手を付けたばかりかなという印象で見ました。一つ気になったのが、野田課長補佐の説明で啓林館は練習問題の答えが見えてしまうのですけれども、これは良いのですか。自学自習を促す意味では良いのですが、中学生であれば見てしまえばというのがすごく気になったのですけれども、それはどうなのでしょうね。

○野田学校教育課長補佐 答えが見えると言いますと、どの辺のところですか。

○阿部委員 練習問題のQRコードがついておりまして、式などが書いてありますので、先生がここが宿題と言ったときにみてしまうのではないかと思うんです。意識の高い子はそれをみて、どんどん伸びるかもしれないでしょうけど、ただそれを書き写す子というのがでてくると思うので、それをどういうふうに考えたらい

んだらうかということです。

○山本教育長 はい、豊田委員どうぞ。

○豊田委員 自学自習なんですけど、特に数学は解らないと本当に解らないのですよ。調べたりすることも、社会や理科のようにできないですから、答えが全く解らない状態で自学自習はやはり出来ないと思うんです。なので、QRコードを探し出してでも検索して式を写すだけでもいい。やはり底辺から拾い上げようとしたら答えが全くない状態でほり投げるのでは、自学自習はちょっと無理ではないかなと思います。教科書を見たときにトライとか、ちょっと難しめの応用問題が教科書が載っている場合、後ろ側にあるんですね。でも、課題があって、例題があって、ちょっとやってみましょうという問題には答えが付いてないんです。それは、授業の中で先生と一緒にやりましょうということで、教科書にも答えが載って無い状態で、一番後ろの方には応用問題とか、章末の練習問題で載っているところだけ、答えが載っているんですけど、やはり、解らないところがある、簡単な処からやり直したいと思って見たときに答えがないのは、自学自習には最大のハードルになると思いますので、式と答えは手の届くところにあってしかるべきだと思います。

○野田学校教育課長補 はい。

○山本教育長 はい、野田学校教育課長補

○野田学校教育課長補佐 おっしゃっている事は本当によくわかります。豊田委員のおっしゃることもその通りだと思います。指導者がどこまでそれを意識して提示して声掛けをし、普段の授業で見ていくかということが何より大切だと思っております。啓林館はすごく練習問題が多いということで、自学自習に繋がるという形を特徴として示されていて、どこの教科書になるか判りませんが、先生方がきちんと教科書の事を理解して生徒に投掛け、理解させるかという事かと思えます。それを家庭と共有できればベストであると考えています。

○山本教育長 他にご意見はありませんか。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 私、実際に使ってみましたがとても便利で、素晴らしいと思えました。簡単にアクセス出来て、使いやすかったです。それと、数学ライブラリーがあって、遊ぶ事が入っていて、QRコードもそうですが楽しく、数学が苦手な生徒でも前向きに取り組めば出来るようになるように感じました。それと、練習問題がかなり多いので、この教科書だけで勉強が出来ると思いましたので、啓林館を推薦します。

○山本教育長 はい、他に意見はございますか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 啓林館のみんなで学ぼう編と自分から学ぼう編の2部構成になっているのが非常に面白いと思えました。特に自分から学ぶというのは、全く解らないと厳しいかもしれませんが、ある程度理解をされていて深めようと、答えから逆に導き方を学習していくこともあるので、自学自主はできるのではないかなと思いが

から見させていただきました。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。いろいろな観点から種々意見も出尽くした様でございます。それでは、ここで山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補 数学は、啓林館の教科書が選択されています。各項ごとに練習問題が設定されることで、小さいステップの中で習熟をはかっていくことが大切だという議論がされていました。今年度のように学校が臨時休校になった際に練習量が多いことは大変貴重であるということも採択基準の1つとなりました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。只今説明がありましたが、委員の皆様方の意見について、山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきました。数学につきましては啓林館に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、数学につきましては啓林館に決定いたしました。次に、理科についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、理科の教科書は、5種です。どの教科書においても学習指導要領に示す目標が達成できるよう、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とした内容をバランス良く構成されるだけでなく、「SDGs」についての意識が高められる工夫もあります。特徴的な点としましては、東京書籍では、冊子の形が縦長で横幅が比較的短いので、手にとって広げて見せやすい形となっています。また、写真をダイナミックに使用することで、科学的な興味関心を引き出す工夫もされています。大日本図書では、AR（拡張現実）技術を用いたデジタルコンテンツを専用のアプリによって利用できます。学校図書では、各単元の初めに「CAN-DO-LIST」が設定され、単元の見通しと振り返りを行いやすい工夫がされています。教育出版では、理科において科学的に探究し、真理をつきとめていくことで、普段の生活に生きた学びとなると考えられています。生徒が探究活動を行いやすいよう巻頭に探究の進め方を詳しく説明されています。啓林館では、理科の学習の中で数の知識が必要になったり、計算をしたりすることがあることから、巻末に算数・数学の考え方を確認する機会を設けるなど、カリキュラムマネジメントの視点が見られます。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。何方からでも結構でございますので、よろしく願いをいたします。

○阿部委員 はい。

○山本教育長 阿部委員どうぞ。

○阿部委員 事前の意見書に書いてあったものを参考にさせていただいたのですが、中学3年生の遺伝子の処で遺伝子組替えに対して、各社がどういうスタンスで取っているのかを見てみましたが、大日本図書が一番きちっと書かれており、メリット、デメリットが書かれていました。他の出版社はメリットを強調しておりま

したので、生命倫理的な観点から言うと大日本図書は目が向いているなど好印象でした。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○寺井委員 はい。よろしいですか。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 理科で一番大事なのは探究心であるとの思い見させていただきました。一番見やすかったのは東京書籍でありました。ただ、教科書の内容からしますと啓林館と大日本が探究心を取入れてもらっていると感じました。啓林館のみんなの探求コラボ、大日本であるなら探求活動、どちらが良いかと言えば啓林館の方がより発展的に生徒が探究心を持てるような構成になっていて良いと思いました。それと、少しであります、教科書の各ページに書き込む欄があって自らの考え方を教科書に記載できるように啓林館の方が工夫をされている。それとQRコードも他社よりも圧倒的に多かった点もかなりプラスになっていると思いますので、啓林館を推薦させていただきます。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。今、出ておりますのが大日本図書、東京書籍、啓林館の3つの出版社が出ておるところですが、他にご意見ございませんか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 はい、私もこの3社が気になりました。東京書籍につきましては、自分の言葉でまとめる力を付ける力になっていくのではないかと。大日本図書につきましては、単元末にまとめと課題が記載されているパターン化されているのも良かったです。啓林館ですが、学年始めの研究や教科書の扱い方など、きちっとされていてまとめや力試しもしっかり書かれていたのが良いと思います。特に、巻末に観察や実験などを通した探求学習を一人一人主体的に取り組めるような書込み可能なシートが配置されているのが、主体的な学習を進めて行くのに、より良いと思いましたので、啓林館を推薦いたします。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。私、東京書籍、大日本図書、啓林館を見たのですが、今、この新型コロナ感染症のなかでどこの市町村でもGIGAスクール構想の実現に向けまして鋭意取り組んでいる、そうした中でQRコードなどを上手く使っているのは啓林館でしたので、私の方もそのような形で考えておりました。私の意見を申し上げるのは誠に申し訳ないのですが、意見がばらつきましたので、意見を言わせていただきました。委員の皆様方の意見も出尽くした様でございますので、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補 はい、理科に関しましては、啓林館の教科書が選択されています。「部活ラボ」や「お料理ラボ」など生活に身近な内容から理科学習に主体的に関われるよう工夫されていると議論されていました。また、QRコードが随所にちりばめられていること、大きめで鮮やかなカラーで写真や図が表示されていることも理由の1つ

としてあげられていました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。只今説明がありましたが、委員の皆様方にはいろいろご意見をいただいたところでございます。相対的に理解をいたしました。理科につきましては啓林館に決定させていただいてよろしいか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、理科につきましては啓林館に決定いたしました。ここで5分の休憩をとります。

～ 5分休憩 ～

○山本教育長 それでは、休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。次に、音楽についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補 音楽の教科書は、2種です。どちらの教科書も日本の伝統芸能について大きく取り上げた掲載となっています。また、QRコードによるデジタルコンテンツにも力を入れられています。特徴的な点としましては、教育出版では、発声を学ぶ際に口の形にこだわり、イラストによる簡素化したシンプルな解説となっています。また、器楽の教科書では、「Let's play」や「Let's try」と称し、難易度順に学習できるよう構成されています。教育芸術社では、バックヤードまで示したオペラハウスのイラストや大聖堂に設置されたパイプオルガンなど、音楽とそれを支える背景や歴史まで示すことで、思考力を広げようという工夫があります。また、器楽の教科書では、Q&Aのコーナーで「かゆいところに手が届く」ようなちょっとしたコツや裏技が大変わかりやすく掲載されています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。何方からでも結構でございますので、よろしく願いをいたします。今、一般と器楽を一緒に説明させていただきました。意見についても一緒にしていただきましたら結構かとぞんじます。採択は別々にさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○豊田委員 はい。

○山本教育長 はい、豊田委員どうぞ。

○豊田委員 はい、教育芸術社は、説明するスペースに写真を使用してわかりやすくできていました。ただ、QRコードに関しては、有名音楽家のホームページに勝手に飛んでしまったりしてチケットが売ってたりして、ちょっと問題があり今後の改良する点ではあると思いますが、合唱の仕方、声の出し方についても行き届いた説明となっているので、教育芸術社が良いと思いました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 はい、私も教育芸術社の方が良いと思っております。器楽の特徴や持ち

方、姿勢、構え方など、正しく順序よく、教育出版社よりかなり丁寧に詳しく説明されています。それと、レッスン1, 2, 3でかなり基礎、基本をわかりやすく説明して教えてる点です。1年から3年の教科書全て発音の基礎、内容がきっちと上手く学べる様になっている点がとても良かったです。両社とも君が代が記載されていますが、君が代のことも写真がありまして、教育芸術社はオリンピックなどの写真を載せています。教育出版社は岩の写真を載せている。どちらが中学生に対して校歌や国歌の大切さを教える上でやさく、写真から教える工夫をされている点でも教育芸術社を推薦させていただきます。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。他にご意見はございませんか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 はい、ギターコードなども書かれていてるのですが、教育出版の方より、教育芸術社の方がきっちと何処を押さえるのかを書かれていました。Q & Aのコーナーではちょっとしたコツや裏技的なことが書かれており、非常にやりやすいのではないかと感じました。指導者が使い勝手が良いのは教育芸術社ではないかと思いました。また、合唱曲も多く載せてもいますので、中学生の合唱に力を入れていますので教育芸術社が良いと思いました。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。他にご意見はございませんか。それでは、他にご意見もないようでございます。山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。一般と器楽を別々にお願いしたいと思います。

○野田学校教育課長補佐 はい、一般に関しましては、教育芸術社の教科書が選択されています。イラストや写真のインパクトやビジュアル、登場キャラクターによる気づきにつながる視点など、生徒の主体性を育む工夫がされているということが理由としてあげられていました。器楽に関しましては、教育芸術社の教科書が選択されております。どの先生でも扱いやすい、教えやすい、または生徒の主体性を育むつくりになっているということが理由としてあげられておりました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。只今説明がありました。委員の皆様方の意見につきましては、山城地区協議会採択地区協議会の意見と同じであると理解をさせていただきます。音楽の一般につきましては、教育芸術社に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、音楽の一般につきましては教育芸術社に決定いたしました。次に、器楽につきましては、委員の皆様方のご意見と同じく、教育芸術社に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、音楽の一般につきましては教育芸術社、

器楽につきましても教育芸術社に決定いたしました。美術についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、美術の教科書は3種です。どの教科書においても学習のポイントが表示され、わかりやすいつくりとなっています。また、QRコードによるデジタルコンテンツにも力が入っています。特徴的な点としましては、開隆堂では、参考作品に作者の言葉が書かれており、作品のイメージが膨らむ工夫がされています。また、生徒の作品が多数掲載されています。制作途中の写真もあり、発送から制作、鑑賞への流れがわかりやすくなっています。光村図書では、制作工程が写真でわかりやすく例示されており、構成から作品の途中経過を見ることで授業や制作の流れがイメージできます。また、デジタルコンテンツの内容が豊富で音声ガイドや現数台表示など鑑賞への意欲が高まるような工夫がされています。日本文教出版では、生徒にわかりやすく美術における見方・考え方を伝えるため、「造形的な視点」の中で題材の中心発問が設けられています。また、生徒が関心を持つように、多方面で活躍されている人物のコラムも掲載されています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりました。各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。何方からでも結構でございますので、よろしく願いをいたします。

○阿部委員 はい。

○山本教育長 はい、阿部委員どうぞ。

○阿部委員 日本文教出版が3冊になっている点が他社と大きい違いで、教科書が重いことや学年が変わった時に新しい教科書を使うと今年こそ勉強を頑張っに行こうという気になるなどこの3冊構成となっているのを好意的に受取りました。開隆堂の場合、123ページの厚みになっており、そういう処をどう評価すべきなのかと思いました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○豊田委員 はい。

○山本教育長 はい、どうぞ。

○豊田委員 今回、光村図書が違った色合いをだしていると思います。どちらかというところ他の出版社は作品集の色合いが強い、立派だなと眺める事は出来ますが、子ども達がそれを書いてみよう、作ってみようとはいう気にはならないと思います。光村図書だけは、その制作過程をすごく丁寧に、教科書として成立していると思ったので光村図書を選ばせていただきました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 はい、日本文教出版は写真やイラストの使い方が見るところがあって、すごい面白い教科書と思いました。全体的に見ていったら、中学生にしたら物足りない感じがしました。開隆堂は見るところが沢山あって良いと思いましたが、見た目に絵やイラストがごちゃごちゃしていて見にくいと感じました。その点、光

村図書はQRコードも大変使いやすく、生徒にとったら勉強がすすめやすい点が1点と、制作工程が各社とも設営されているのですが、よりわかりやすく説明されているのが光村図書としましたので、光村図書を推薦します。

○山本教育長 他にご意見ございますか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 各社特徴があって、やはり、3冊なのか2冊なのかの部分は大事だと思いますが、この教科書でどう学習を進めていくのかと考え見させていただきました。光村図書がより教科書的で、子ども達に考えさせよう、意欲を持たそうという部分が良いとしましたので、教科書としては光村図書が良いと思いました。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。それでは意見も出尽くした様でございます。ここで、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 美術は、光村図書の教科書が選択されています。制作過程がわかりやすく表現されていることだけでなく、小学校の図工と中学校の美術とのつながりを大切に扱われていることも理由としてあげられていました。以上です。

○山本教育長 はい、只今説明がありました。東山城地区協議会採択地区協議会につきましては光村図書ということでした。日本文教出版とのご意見も出ていましたが、久御山町といたしまして美術の採択教科書は、光村図書に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、美術につきましては光村図書に決定いたしました。次に、保健体育についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補 保健体育の教科書は、4種です。どの教科書においても各章のはじめに、小学校で学習したことや高校で学習することの関連を示すなど、学びの連続性を意識したつくりとなっています。また、デジタルコンテンツの中で動画やリンク集を示し、効果的な学習につなげようとされています。特直的な点としましては、東京書籍では、他教科との結びつき、自分の日常生活とリンクを大切にされたつくりとなっています。また、共生の視点から、オリンピック・パラリンピックの価値やキャリア教育、食育など豊富な資料が示されています。大日本図書では、防災教育や実習課題において、資料が丁寧でとてもわかりやすく記述されているので、生徒の思考力や判断力の育成につながる工夫となっています。大修館書店では、毎時間に設定されている「学習のまとめ」において、ブレインストーミングやディスカッションなどの活動が行えるよう配慮されています。学研では、「章のまとめ」で習熟をはかることはもちろん、章末において「探究しようよ」を設定し、自分で課題を見つけ、解決へと導く発展的な学習の機会が保障されています。以上です。

○山本教育長 はい、説明がおわりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいと思います。何方からでも結構でござ

ざいますので、よろしく願いをいたします。

○阿部委員 はい。

○山本教育長 はい、阿部委員どうぞ。

○阿部委員 デジタルコンテンツの質にかなりバラツキがある点が一番の印象で、外部リンクばかりを集めたリンク集みたいなものがあって、新型コロナの関係でデジタル授業が非常に注目されていますが、なんでもかんでもWebに上げたら良いというような事でもないので、教科書制作会社は紙の教科書の処で勝負していただきたいと非常に強い印象を持ちました。保健体育は特にデジタルコンテンツの行き届きの差が非常にあると感じました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございますか。

○豊田委員 はい。

○山本教育長 はい、豊田委員。

○豊田委員 はい、東京書籍、健康とはどのような状態かの問いかけから始まり、子どもが入って行きやすい、話し合ってみよう、課題でも中学生でよくあるちょっとした問題、中学生が身近に感じやすい課題を取上げている。また、性の多様性についても取上げています。時代に沿った内容になっていて、すごく良いなと思いました。大修館はイラストを上手に使われていて、まとめ方は素晴らしいと思いましたが主体的に取り組むという働きかけについてはもう一つと思いました。学研は災害時の健康を取上げていて、それも時代に沿った内容で、日常とは違い災害時にはどんな事がおこるかなど病気と関連づけて問題をだすなどうまいと思いました。東京書籍と学研がQRコードに頼るのではなく、行き届いた内容になっているのではないかと思います。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、どうぞ。

○寺井委員 各社ともにユニバーサルデザインがしっかりされていて、全ての教科書が見やすかったと思います。そのなかでも東京書籍と大日本が見開きの写真がスポーツ選手の写真が載ってまして、写真の使い方が上手いと思いました。東京書籍の良いのは、授業もなかなか進みにくい状況で、一つの流れがあって学習課題があって、学習課題に対してどう解決していくか、基本的な流れで授業の進められる点が生徒も授業を受けやすいですし、教える先生も一つの流れがある事で指導しやすいと感じました。その点で、東京書籍が良いと思います。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○田口員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員。

○田口委員 私も東京書籍と学研が良いと思って見させていただきました。見つける、学習課題、課題の解決、広げていくといった流れに沿って学習が進められていくあたり、優れているのではないかと感じました。主に実技が中心になるかと思いますが、やはり子ども達の生活、あるいは身体に関係するような事をしっかりと学習していけるのではないかと思いますので、東京書籍を薦めたいと思います。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。意見も出尽くした様でございますので、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、保健体育は、東京書籍の教科書が選択されています。各ページにおいて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の流れがあり、生徒や指導者にもわかりやすい構成であると議論されていました。また、デジタルコンテンツにおける動画やリンク集、シミュレーションが豊富であることも理由としてあげられていました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。只今説明がありましたが委員の皆様のご意見も山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきたいと思っております。保健体育につきましては東京書籍に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、保健体育につきましては東京書籍に決定いたしました。次に、技術についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい、技術・家庭科の技術分野の教科書は、3種です。どの教科書においても若手や指導力が十分でない教員、生活経験の浅い生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がされています。特徴的な点としましては、東京書籍では、問題解決の結果やその過程を評価する場面を取り入れています。また、巻頭のガイダンスで写真や図、マンガによる説明などを効果的に使い、生徒の学習に対する意識を高めています。教育図書では、実習例が取り組みやすいものになっているため、体験活動を通して思考力・判断力・表現力の育成が図れるよう工夫されています。また、別冊で安全に実習するための技術ハンドブックが用意されています。開隆堂では、設計の内容がていねいに書かれていることで、手順を考えながらものづくりができるという構成になっています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいと思います。何方からでも結構でございますので、よろしくお願いをいたします。

○寺井委員 はい。よろしいですか。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 私、東京書籍を推薦したいと思います。その理由ですが、どの教科書もQRコードで幅広く学習できるようになっています。特に東京書籍の内容が大変見やすく、活用しやすくなっていると思います。そして専門的な内容が丁寧に書かれていて、写真やイラストの使い方が大変わかりやすくなっていると思います。生活に役立つような内容や情報が資料のコーナーで紹介されていて、大変ためになる内容になっていました。そして、技術の匠のコーナーで各分野のエキスパートが話の内容が大変興味深くて、子どもたちの学びになる良いコーナーがありますので、東京書籍を推薦したいと思います。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。他にご意見ございませんか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 教育図書については、技能一辺倒の資料的な教科書と思いましたが。技術の専門でなくても使用しやすい教科書はどれかと思ひ読みました。東京書籍が良いと思ひました。経験不足の生徒への指導や注意点などしっかり書かれていますので、東京書籍を推薦したいと思ひます。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○豊田委員 はい、いいですか。

○山本教育長 はい、どうぞ。

○豊田委員 教育出版はハンドブックが付いていて、技術というのは実際に生活に即した事を学ぶのでハンドブックはすごく考え方としては良いと思ひましたが、東京書籍は素材がどのようにして作られるかまで説明があり、SDGsを考えた時にも深く掘り下げて行き届いた説明もあり、東京書籍の方が良い印象を受けました。

○山本教育長 はい、他にご意見はございますでしょうか。それではここで、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 はい。技術は、東京書籍の教科書が選択されています。設計の手順や概念が丁寧に書かれているほか、実習例にもさらに工夫した形状など書かれていることから自身で工夫し、思考力・判断力・表現力の育成につなげることかできるということが議論されていました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。只今説明がありましたが委員の皆様方の意見は山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきたいと思ひます。技術につきましては東京書籍に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、技術につきましては東京書籍に決定いたしました。次に、家庭についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 技術・家庭科（家庭分野）の教科書は、3種です。どの教科書においても現代的課題への対応としてSDGsや共生社会を取扱い、高齢者との関わりも設けられています。特徴的な点としては、東京書籍では、指導内容の配列を5編の表記で、衣食住にあたる部分を細分化しています。「自立から共生」のストーリーになるよう配列することで、生徒が主体的に学習に取り組む工夫がされています。

教育図書では、問題解決学習である「学びを生かそう」を設定し、思考力・判断力・表現力を育成を図っています。開隆堂では、「学習の目標」「導入の言葉かけ」を示し、「ふり返り」を自分の言葉で書かせ、定着を確認できるように構成されています。また、QRコードが230種類と豊富にあります。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、委員の皆様方の意見をお伺いいたします。各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきました。

いとぞんじます。何方からでも結構でございますので、よろしく願いをいたします。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 東京書籍のトップページに食育、これ東京書籍だけが食育をトップに持ってきている。食事の事が、小学生、中学生の身体の成長に係る部分で一番大事なんです。その点をトップページに持ってきているのが、大変良いと思います。先程説明があった、現代社会の問題、課題点の処で共生や持続可能な社会、この点、未来に向けて生徒達が考えさせられるような内容が記載されている。これらを重点に生徒達が勉強できるのは大変良いことと思いますので、東京書籍を推薦していきたいと思います。多くの実習例が記載されており、生徒がいろいろな方向から学べる様になっている点も大変好ましく思いました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 はい、田口委員どうぞ。

○田口委員 私も東京書籍が良いのではと思いました。特に実習例が豊富で、どう生活に活かしていくかを実習的な、実践的な、あるいは体験的な取組や活動が出来るのではないかと思います。また、防災手帳も付いており、それも有効であると思いました。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございませんか。それでは、他にご意見もございませんので、山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 家庭分野では、東京書籍の教科書が選択されています。内容の配列を大きく変更し、ストーリー性を持った指導計画を提示していることが良いという議論がされてきました。また、巻頭のガイダンスの内容が充実していること、実習例が多いことも理由としてあげられていました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。只今説明がありましたが委員の皆様方の意見は山城地区協議会採択地区協議会と同じであると理解させていただきたいと思います。家庭につきましては東京書籍に決定させていただいてよろしいでしょうか。それでは、お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、家庭につきましては東京書籍に決定いたしました。次に、英語についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 英語の教科書は、6種です。どの教科書においても一定のサイクルを持った内容構成となっておりますので、見通しを持った学習をすることができます。また、小中の接続を意識した構成であるだけでなく、伝統文化や異文化、国際理解、自然科学などSDGsに関連した題材もあげられています。特徴的な点としましては、東京書籍では、CAN-DOリストにおいて学習到達目標を設定しています。キーセンテンスとして文法事項が明記されていたり、思考力・判断力・表現力の育成を図るため、

ユニットごとに「unit activity」を数ユニットごとに「Stage activity」というページを設け、統合的な力を育成するつくりとなっています。開隆堂では、CAN-DOリストにおいて学習到達目標を設定しています。単元の最後に文法のまとめを設定しています。扉の後ろにある Scenes において短い対話形式の文型導入を図っています。また、学習指導要領で大切にされている「Retell」を意識した（読んだ内容を自分の言葉で話す活動 英語を理解する能力と表現する能力が必要）構成となっています。三省堂では、CAN-DOリストにおいて学習到達目標を設定しています。「GET」というページにおいて文法事項が明示されたり、巻末の付録が非常に充実したりしています。また、数ユニットごとに配置された「Project」において思考力・判断力・表現力の育成を図る構成としています。

教育出版では、CAN-DOリストにおいて学習到達目標を設定しています。構成としてシンプルな形がとられています。「Grammar」において文法事項を明示し、数ユニットごとに配置された「Project」において思考力・判断力・表現力の育成を図る構成となっています。また、巻末には1～3年生におけるCAN-DOリストが明示されています。光村図書では、CAN-DOリストにおいて学習到達目標を設定しています。ストーリー性を重視した楽しみながら学べるよう工夫がされています。学習指導要領で大切にされている「Retell」を意識した構成となっています。また、数ユニットごとに「You can do it」という統合的な力を育成するページが設けられています。啓林館では、CAN-DOリストではなく単元ごとの目標を明示する構成で内容は、シンプルで見やすい教科書のつくりとなっています。また、小中のつなぎを大切にしたい「Let's start」が数ページにまたがっていること、「Target」というページの中で文法事項を明記し、「Project」のページで思考力・判断力・表現力などの育成を図る配慮がされています。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいと思います。何方からでも結構でございますので、よろしくお願いいたします。

○豊田委員 はい。

○山本教育長 はい、豊田委員どうぞ。

○豊田委員 はい、東京書籍ですが、カラーでアルファベットの記載があり、発音記号も載っています。他の出版社は、発音記号は教科書の一番最後に載っています。自学自習において発音記号は大事とされていて、東京書籍はアルファベットの処に発音記号を載せているのが良いと思いました。1年生の間はあまり差が無いのですが、3年生の内容になってみると東京書籍はすごく高校へ繋げる意識があって、力を付けさせようとする意図がすごくあって、各社によってレベルは違うけれども、これぐらいは出来るようになっていないと高校では困るのではないかという事をクリアしているのは東京書籍ではないかと思いました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○阿部委員 はい、教科書の意見ではありませんがいいですか。

○山本教育長 はいどうぞ。

○阿部委員 小学校で英語が必修化されて、小中接続が英語においてははすごく重要になってくると思います。今まででしたら、中学1年生でスタートできたものが、中学1年生の最初から差がでてくると思いますので、そこのケアが大事になってくると感じました。

○山本教育長 ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

○寺井委員 はい。

○山本教育長 はい、寺井委員どうぞ。

○寺井委員 どの教科書が英語に入って行きやすいかを考えました。光村図書はストーリー性があって前に前に進めていける感じがしました。東京書籍は昔からなじみがあって、先生方も授業がしやすいと思いますが、光村図書は英語が入ってきにくい生徒にも進みやすい感じがしました。物語が進んで行くのと同時に授業も進んでいくと楽しくできるのでないか、パートで基本的な事が示されていてパートで何を学んで行かないといけないかが示されていて。これは英語が苦手な生徒がとっても大変わかりやすいと思います。他の教科書も同じですがQRコードを使って家庭学習が出来るようになっている点も、実際に使ってみて光村図書が使いやすいと感じました。

○山本教育長 はい、他にご意見ございませんか。

○田口委員 はい。

○山本教育長 田口委員どうぞ。

○田口委員 はい、私も見させていただいて、以前から東京書籍を使っていることで、そこも見ながら考えさせていただきました。光村図書ですが総合的な育成ができるような内容で、指導者も非常に使用しやすい構成になっているのではないかと思います。教科書会社を替えることで先生方も新しい英語教育に取り組んでいただけるようなステップにもなるのではないかと思います。小中とのつながりが上手く表現されている部分もありますので、それも含めて光村図書に替えてみてはと思いました。

○山本教育長 はい、東京書籍と光村図書の2つがでていましたが、甲乙付けがたいと思います。先程も新たな教科書を選択してはとの意見もありました。

田口委員、もう一度、そのところを教えてくださいませんか。

○田口委員 はい、今、英語教育で行き詰まっていると、現場では思っていると思います。小学校から中学校へのつながりが非常に難しいです。小学校では活動が中心になっているのに急に座学になって、子ども達も受入れにくいのではないかと思います。そういう面でも、どう子ども達に展開して、どう生徒達に英語に興味、関心を向かせるかというのは、新たな教科書会社のやり方を勉強しながら先生方の技術を高めていってもらうのも一つの方法かと思います。東京書籍も光村図書も甲乙付けがたい、新たに専門的な事もあるかと思いますが、甲乙付けがたいという思いはありますが、ここで思い切って変更していくことで、先生方のやる気や意欲に期待していきたいと思い光村図書を推薦いたしました。

○阿部委員 質問よろしいですか。

○山本教育長 はい、どうぞ。

○阿部委員 小学校はどこの教科書を使っていますか。

○野田学校教育課長補佐 小学校は東京書籍です。

○阿部委員 今、田口委員がおっしゃった、英語教育に行き詰まりというのは日本全体の小中接続の壁の事なのか、この地域、久御山中学校で特に問題になっているのか、どのレベルでの問題なのですか。

○田口委員 私が小学校の現場にいた時も小学校から英語教育に関心を高められまして、進んで取組んで、1校に1人ネイティブの講師を配置していただき、子ども達は英語って楽しいと思ってもらい中学に送り出すのですが、中学の座学になって難しい、判らないと思う子が多くいました。これは、久御山町だけではないと思います。これから全校にも小学校から中学校のつながりが研究されていくと思いますので、新たな出発として教科書会社を替えてみてはと思いました。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。それでは、ここで山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 英語に関しましては、光村図書の教科書が選択されています。出会いから学校生活、別れなど中学校生活をイメージしたストーリーから身近な話題をもとに本文が作られているので、生徒が興味を持って学習に向かえることが良いという議論がされていました。聴く、話す、読む、書くである4技能5領域をバランス良く育成するための工夫がされていること、指導者の工夫の余地も残された内容構成となっていることも理由の1つとしてあげられていました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございます。山城地区協議会採択地区協議会につきましては、光村図書が採択されておりますが、いろいろなご意見を拝聴する中で、久御山町におきまして、英語につきましては光村図書を採択したいと思っておりますがよろしいでしょうか。お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 挙手全員であります。よって、英語につきましては光村図書に決定いたしました。最後に、道徳についての協議を行ないます。野田課長補佐からの説明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 道徳の教科書は、7種です。どの教科書においても工夫した教材の配列がされ、UDに対する配慮もされています。情報モラルと現代的な課題などの取扱いに関しても「いじめ問題」や「国際理解」「SDGs」など、全て網羅されたつくりとなっています。各社の特徴的な点としましては、東京書籍では、自分の考えや感じたことをメモする「つぶやき」という欄を設定することで、道徳的価値の理解を深めた考え議論する道徳になるよう促しています。また、付録としてついている心情円盤やホワイトボードを活用することで生徒の主体性を育む配慮もされています。教育出版では、題材の導入ページにテーマに沿った意識づけの発問が設定することで、学習する内容の見通しが持てるよう工夫されています。各学年で「やってみよう」のページを設け、役割演技などの体験的な学習をすることができます。光村図書では、小学校の教材も振り返りができる補助教材や読み物と併せて2時間で体験的な学習の深めタイム

の設定があります。また、「見方を変えてつなげよう」という発問が設定されており、多面的・多角的に考えたり日常生活や他教科に考えをつなげられるような工夫がされたりしています。日本文教出版では、別冊の道徳ノートがあり、教材とリンクしたワークシートと振り返りができるようにセットされています。保護者欄もあり、家庭との連携に生かす配慮もあります。また、ユニット教材「よりよい社会と私たち」では、社会参画、将来の生き方の視点から考えさせる資料が入っています。学研では、複数の教材で連続した学び、テーマについて考えを深めるユニット学習が設定されています。また、道徳的価値をより深めていくための工夫として絵や写真を効果的に活用するだけでなく、グラフなどの新感覚の教材もあり、生徒が議論しやすい配慮がされています。廣済堂あかつきでは、別冊の道徳ノートがあります。題材の内容とリンクした資料には、道徳的諸活動について解説が掲載されていますので、必要に応じて自分の思いを書き表しながら考えていく形となっています。また、教材ごとに「考える」「話し合う」「学習の手がかり」「考えを広げる」「深める」の設定があり、教材理解、自分自身の振り返り、道徳的諸活動を深める工夫がされています。日本教科書では、教材の冒頭で内容項目を示さず、題名だけのシンプルな提示をすることで、生徒が先入観を持つことなく、自ら課題を見つけ、考えることができるよう配慮されています。また、先人たちや今を生きる人たちなど多彩な人物教材が充実しています。以上です。

○山本教育長　　はい、説明が終わりましたので、各発行者の良いと思う点などにつきまして抜粋して意見を述べていただきたいとぞんじます。何方からでも結構でございますので、よろしく願いをいたします。

○豊田委員　　はい。

○山本教育長　　はい、豊田委員どうぞ。

○豊田委員　　道徳の教科書はいろいろな観点があるので、どんな事に関して子ども達が話し合ったり、考えを深めたりして欲しい、内容が子ども達に伝わりやすいのかどうか、そして、伝わった内容に関して出来るだけ活発な意見交換の中で子ども達がより深い考えにたどり着きやすいかどうか、また、自分で振り返って自分の成長の証としてそれを認識できるような工夫があるかどうか、の3つを基準に絞って読ませていただきました。東京書籍は漫画の一コマを載せることで、興味を引くちょっとした仕掛けや内容の理解を助ける工夫、東京書籍に限らず各社いろいろな工夫をしていただいていると思いました。特に東京書籍、学研、光村図書が子ども達にロールプレイングで劇を演じてみましようとか、登場人物の心情を理科するような取組を提案していたり、とてもよく考えられていると思いました。光村図書は説明しすぎていて、子どもにとっての余白の部分が少ないのではないかとの印象も受けました。別冊の記録がついてるかどうかポイントになると思いますが、ノートとして使うよりも1ページだけをコピーして使う先生もいらっしゃる、それだとプリントが分散した時点で、振り返りできないことになる。一年を通して自分を振り返るといような構成にしてあるなかで光村図書だけは授業毎に感想を書き加えるようにでき、教科書をみると単元毎に振り返りが出来るようにしてあるのも面白いと感じました。選び切れなかったのですが、学研、東京書籍、光村図書がす

○山本教育長 はい、ありがとうございました。それでは意見も出尽くした様で
ございます。山城地区協議会採択地区協議会が採択された出版社とその理由について説
明を求めます。

○野田学校教育課長補佐 道徳は、廣濟堂あかつきの教科書が選択されています。
「考え議論する道徳」を進めていくためには、「道徳ノート」は有効であることが議論
されていました。あかつきの「道徳ノート」は、ワークシート形式ではなく、価値を深
める資料が入っていることで生徒個人の中で深まりのある考えが生まれてくるのでは
ないかという理由があげられていました。また、教材の冒頭で内容項目を掲げていない
ことも理由の1つとなっていました。以上です。

○山本教育長 はい、ありがとうございました。山城地区協議会採択地区協議会が推
薦する教科書は廣濟堂あかつきです。私もこの部分につきましてはいろいろ、あかつき、
光村図書、読ませていただいて、最後阿部委員が言われました、責任を持って子ども達
に何を与えるかという部分が一番大事であるところのように思った幸いです。今、あか
つきが2人の委員、他いろいろな観点からご意見をいただいたところですが、最後、道
徳につきましては久御山町教育委員会として廣濟堂あかつきに決定させていただいて
よろしいでしょうか。お諮りをいたします。賛成の委員の皆様方の挙手を求めます。

○委員一同挙手

○山本教育長 ありがとうございます。挙手全員であります。よって、道徳についま
しては廣濟堂あかつきに決定いたしました。それでは、協議をいただきました、議案第
26 号令和3年度以降使用中学校教科用図書につきましては全教科採択されましたので
これで終了いたします。それでは、これを持ちまして、議案第26号を終了いたします。
ここで5分間休憩を取ります。

～ 5分休憩 ～

○山本教育長 それでは休憩前に続きまして、会議を再開いたします。議案第27号
令和2年度久御山町一般会計補正予算（第7号）につきまして、令和2年度久御山
町一般会計補正予算（第7号）を作成するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関
する法律第29条の規定により、意見を求めます。それでは、事務局より説明を求めま
す。

○星野学校教育課長 はい、まずは、学校教育課の7号の内示書をご覧ください。今
後、9月議会に上程を予定しております第7号補正予算の学校教育課所管分つきで説明
させていただきます。まず、歳入でございます。1ページをご覧ください。積算基礎欄
の上から2つ目と4つ目になります。理科教育設備整備費補助金の交付決定がありまし
たので、それにともなう増額補正を行うものです。小学校費で150,000円、中学校費で
137,000円を増額しております。続きまして歳出でございます。4ページをご覧ください。
小学校施設維持管理事業でございます。こちらの事業費、修繕費で、電話設備更新
事業として123,000円の増額計上しております。こちらは働き方改革の関係でございま
して、留守番電話を設置するために補正予算を計上いたしております。これは小学校費

でございます。続いて、6ページをご覧ください。学校管理一般事務費でございます。小学校費の学校管理一般事務費の備品購入費で小学校教師用指導書の購入費用として930,000円を増額計上しております。こちらの方は、既に前期分は購入しておりますが、後期を購入する費用でございます。続きまして9ページをご覧ください。GIGAスクール関係の予算でございます。小学校情報教育環境整備事業の役務費の通信運搬費でインターネット導入経費等で152,000円を増額でございます。そして委託料のタブレット端末の関係の設定費や保障費用や保守費用、追加で設定しますソフトやフィルタリングの設定費用、ペンシルの購入費用、合計しまして32,775,000円を増額です。10ページをご覧ください。使用料及び賃借料の電子計算機器借上料で無線アクセスポイントのリース料950,000円を計上しております。これは、整備が終了してからリース料が発生しますのでの2ヶ月分を計上しております。そして、ソフトウェア使用料、フィルタリングソフトなどの使用料10,032,000円を増額計上しております。続きまして、13ページをご覧ください。こちらの方は中学校の留守番電話機の更新事業で869,000円を増額計上しております。次に16ページをご覧ください。中学校のGIGAスクールの整備に係る経費でございます。インターネット整備経費65,000円、端末、保障などの経費としまして18,982,000円、使用料及び賃借料としてタブレットに入れるソフトの使用料としまして6,222,000円を増額しております。以上です。

○山本教育長 はい、続きまして社会教育課、お願いします。

○西野社会教育課長 はい、それでは、社会教育課分を説明いたします。1ページにつきまして、使用料及び手数料、公民館使用料でございます。公民館については10月頃からアスベスト除去工事を実施するにあたりまして公民館を閉館いたしますので、公民館使用料の10月分から使用料と喫茶店の行政財産使用料の減額ということで332,000円の減額となります。そして、体育施設使用料ですけれども、町民プールが中止となりましたので、入場料を減額し7,562,000円でございます。続きまして国庫支出金の地方創生推進交付金でございます。当初計画しておりました、いきがい大学、文化祭、この2つの事業につきまして中止となりましたので、2,565,000円の減額となっております。次のページを見ていただきまして、保健体育費の補助金でくみやまマラソン大会、運動会、この2つの事業が中止となりましたので、1,590,000円の減額となっております。次に、府支出金の部分で文化芸術振興・発信事業補助金で、文化祭に係ります補助となり、中止となったことで14,000円の減額となります。次に諸収入で、いきがい大学社会見学個人負担金といきがい大学受講料の2つにつきましても中止となりましたので社会見学個人負担金960,000円、いきがい大学の年間受講料380,000円の減額となります。そして、広島派遣参加者負担金でございます。この事業も7月に予定しておりましたが中止となりましたので、80,000円を減額しております。次に歳出でございます。人件費につきましては一人、人事異動により増額となっております。いきがい大学、平和学習推進事業、町民文化祭事業、につきましては、事業が中止となりましたので関連予算を減額しています。次に中央公民館運営事業でございます。アスベスト除去工事を実施しますので、令和3年度から解体工事を計画しており、その解体工事に伴います設計業務6,248,000円を増額しております。放課後児童健全育成事業につきまし

ては、奨学金利子及び割引料でございます。令和元年度国の補助金の精算につきまして、翌年度に返還をする事になりますので今年度、令和元年度分の返還として3,785,000円を増額しております。職員手当につきましては、コロナで減額しております。次に17ページのくみやまマラソン大会支援事業、町民運動会等体育大会支援事業、中止になりましたので減額しております。最後でございますけれども、総合体育館運営事業でございます1,000,000円を増額でございます。これは、体育館のトレーニングルームにありますコードレスバイク2台が故障しておりますので、購入する費用でございます。以上です。

○山本教育長 はい、説明が終わりました。質疑に入ります。質疑ございませんか。学校教育課の方はGIGAスクール構想を推進するにあたっての備品などの金額ですが高いですね。

○星野学校教育課長 はい、iPadを採用させていただいたのでアップルペンシルですと10,000円程度します。年齢に併せて購入して行きます。

○豊田委員 はい。

○山本教育長 はい、どうぞ。

○豊田委員 壊れたときの保障はついているのですか。

○星野学校教育課長 はい、アップルの契約保障のメニューがありますので、契約をさせていただいて、一定の故障については保障していただけます。

○山本教育長 他ございませんか。

○委員一同 ありません。

○山本教育長 それでは、質問もないようでございます。議案第27号 令和2年度久御山町一般会計補正予算（第7号）について、ご異議ございませんか。

○委員一同 はい。

○山本教育長 異議なしと認めさせていただきます。議案第27号 令和2年度久御山町一般会計補正予算（第7号）については可決いたしました。以上をもちまして、本日の久御山町教育委員会定例会は閉会いたします。ありがとうございました。

午前12時20分 終了